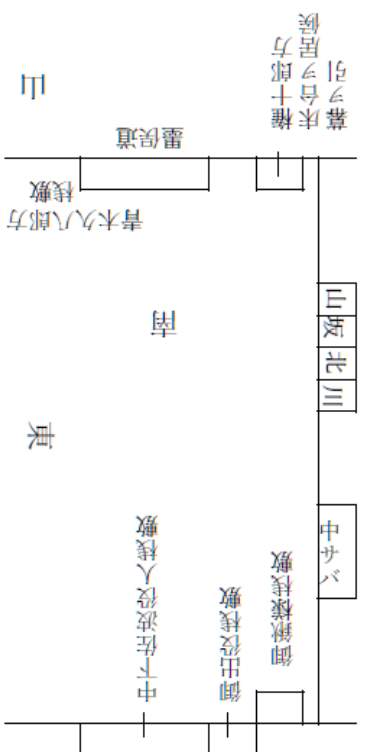


「天保十一年 子三月改 一番歳々諸事村用書留帳 青木久兵衛扣」  
 (青木久太郎家文書 岐阜県歴史資料館蔵)

安政六未三月九日、佐波  
 三ヶ村共、御鍛祭ヲ致候  
 上佐波村酒ヲ買てうさい斗  
 下佐波村中佐波村両村ハ華  
 火ヲ揚候 夜華火奢り之事  
 故壺旗斗リ揚候 場所者下  
 佐波村葭原滝之内泉池通ニ  
 下佐波ハ南之方中佐波ハ北之  
 方ニ致候 左之図之通



右之通ニ致し無滞相濟候 揚  
 火数下佐波ニ而凡百七拾本程  
 中佐波百廿本程揚候 下佐波村  
 者壺組ニ壺斗樽四ツ宛遣候間  
 六拾六樽買遣候 御還蔦屋ニ而  
 翌日一日てうさいにわか等村方  
 役家廻り候 尤庄屋斗リ  
 八幡宮始リニ而拙家へ参り候

候 間惣若者へ五升樽壺ツ遣候

其外北屋敷会所えも見舞い  
 まんぢう数百拙家より遣候 前  
 日ニも渡り物等致参候間子供  
 えはまんぢう若者へハ酒等出候

当日調  
村役人警固之者不残拙宅へ  
揃夫より八幡宮え参詣致  
八幡宮より拙宅裏道ヲ船場  
之所え上り堤斗石川迄行き  
夫より須原宮神明宮え参  
詣致し直ニ南堤え上り領毛  
八幡宮え参詣いたし同社  
裏藪ヲ切抜裏え出山西へ  
掛り泉池之場ニ至候

ぼんてん

青木久八郎

出役不致

前

欽山大神宮

庄屋

警固

山田五左衛門

〃 青木久兵衛

〃 小川逸平

右三人ハ小袴ニ割羽織帯刀

与頭

山田偕平

〃 孫兵衛

〃 嘉兵衛

〃 八右衛門

〃 庄三郎

〃 儀平

〃 惣四郎

右不残タツケ割羽織一刀

御上様より之出役

御同心 三倉鎌蔵

同断 岩田兵吉

※ 翻刻にあたっては、助詞に用いられている「者」「而」「江」「茂」をはじめ、変体仮名及び合略仮名（「方」）は平仮名書きとした。また旧字体は新字体に改めた。